

会 議 録

1 会議名

令和3年度第11回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告（公開）

- (1) 安塚区安塚地区農業集落排水処理施設の廃止等について
- (2) 諮問第112号（安塚雪だるま高原の一部施設の廃止について）の答申に対する回答について
- (3) 地域協議会会長会議について

○協議（公開）

- (1) 令和4年度地域活動支援事業について
- (2) 令和3年度地域活動支援事業成果報告会について

○自主的審議事項

- (1) 住みやすい安塚の在り方について

○その他（公開）

3 開催日時

令和4年1月25日（火）午後6時から午後8時3分まで

4 開催場所

安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：池田裕夫、池田康雄、石田ひとみ、小松光代、新保良一、中村真二
外立正剛、秦克博、松苗正二、松野修、山岸重正、吉野誠一
- ・事務局：安塚区総合事務所 岩野所長、大島次長、石川市民生活・福祉グループ長（併
教育・文化グループ長）、村松班長、萬羽主任
- ・生活排水対策課：高橋副課長、徳永係長

8 発言の内容（要旨）

【大島次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【松苗正二会長】

- ・挨拶

【大島次長】

本日の会議録の確認は、内規により松苗正二会長にお願いする。

条例第8条第1項の規定により、松苗正二会長から議長を務めていただく。

【松苗正二会長】

それでは、次第3報告事項（1）安塚区安塚地区農業集落排水処理施設の廃止等について、から議事を進めていく。

本日は担当課である生活排水対策課の職員が出席しているので、説明を求める。

【生活排水対策課 高橋副課長】

資料No. 1-1及び1-2に基づき、安塚区安塚地区農業集落排水処理施設の廃止理由やこれまでの経過等を説明。

【松苗正二会長】

担当課から説明があったが、何か質問等あるか。

【山岸重正委員】

施設そのものが廃止されるのか。

【生活排水対策課 高橋副課長】

処理場の機能はなくなるが、施設は今後ポンプ場として使用する。一旦汚水が施設の中に入り、ポンプ圧送で汚水を浦川原区へ送ることになるので施設自体は残る。使用しない設備については、今後機器を撤去したうえで下水道関係の書庫や資材置場として利用し、施設の有効活用を図りたいと考えている。

【山岸重正委員】

施設のすぐ脇に田んぼがあるが、昨年くらいに施設から出た排泥がそこへ山積みされていると思う。そのようなことはないか。

【生活排水対策課 高橋副課長】

施設から出た汚泥等については、市がバキュームできちんと処理しているため、その

ようなものではないと思う。

【山岸重正委員】

それではあそこに積んであるものは何か。積まれてからすごく悪臭がするようになったので、何かの機会に聞こうと思っていた。一度確認してもらえないか。

【生活排水対策課 高橋副課長】

積まれているのは白い袋に入ったものか。

【山岸重正委員】

そうである。

【生活排水対策課 高橋副課長】

定かでない部分もあるが、昨年度豪雪の時に桜の枝が折れてしまい、剪定したものを処分するまで仮置きさせてもらいたいという話があった。それがそのままになっているのかもしれないので、浦川原区総合事務所建設グループへ確認する。

【山岸重正委員】

1 トンパックの中に入っているものである。

【生活排水対策課 高橋副課長】

それは恐らく剪定した枝であると思う。

【山岸重正委員】

木の枝ではないと思う。100個くらい山積みになっている。

【生活排水対策課 高橋副課長】

私が認識している限りでは、浦川原区総合事務所から仮置きさせてほしい旨の依頼があった道路維持の関係で剪定した枝のみである。

【山岸重正委員】

木の枝が下に置いてあるのは知っている。そのほかに臭気のするものが1 トンパックで100個くらい山積みされている。

【生活排水対策課 高橋副課長】

1 トンパックで100個か。

【山岸重正委員】

数えたわけではないが、感覚としてはそれくらい積まれている。

【生活排水対策課 高橋副課長】

下水や集落排水の汚泥でないことは確かである。我々のほうで確認し、追って報告させていただく。

【山岸重正委員】

後日で構わないのでよろしくお願ひしたい。私だけではなく、近辺に住む住民の方も同様に臭気を感じており、黙っているだけであると思う。かなりの臭気がするので、排泥を積んでいるのかなと思っていた。この機会にお聞かせ願ひたい。また、いくら市の土地であったとしても、変なものは置かないようにしてもらいたい。

【生活排水対策課 高橋副課長】

承知した。ただ、集落排水の汚泥はきちんとバキュームで処理し、処理施設へ出しており、そういった汚泥でないことは確かである。それ以外のもので何が置かれているのか確認し、報告させていただく。

【山岸重正委員】

よろしくお願ひしたい。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

【吉野誠一委員】

3月に条例改正の提案をされるという説明であった。これは、第6次総合計画における都市基盤分野とは全く関係のないものか。

【生活排水対策課 高橋副課長】

公の施設の適正配置計画のことか。

【吉野誠一委員】

第6次総合計画の基本計画に都市基盤分野があり、その中にインフラ整備という項目があったと思う。それとは関係のないものか。

【生活排水対策課 高橋副課長】

インフラ整備とは異なる。下水道経営の中で実施するものである。

【吉野誠一委員】

特に諮問にかけける性質のものではないということか。

【生活排水対策課 高橋副課長】

特定の地域の利用に特化した公の施設の処理場機能の廃止であるため、諮問事項にはあたらないと考えている。

【吉野誠一委員】

公の施設に限ったわけではなく、都市計画の基本計画に関わるものは一応全て諮問にかけなければならないと思う。

【生活排水対策課 高橋副課長】

都市計画の基本計画に関わる整備ではない。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

【外立正剛委員】

浦川原区へ集約するということであったが、そこで十分処理可能ということか。

また、管渠接続等に係る工事費の負担により、利用料金の上乗せは発生するか。

【生活排水対策課 高橋副課長】

使用者に対し、新たな費用負担は全く生じない。

また、浦川原区の処理場については、安塚区のものを入れても十分余裕のある施設である。

【外立正剛委員】

浦川原区の施設であるが、国道沿いから見るとあまり状態がよくないように見える。

【生活排水対策課 高橋副課長】

国道沿いから見えているのは、恐らく旧水道局の施設であると思う。

【外立正剛委員】

失礼した。位置的にはそこよりももう少し下の方にあるということか。

【生活排水対策課 高橋副課長】

もう少し奥に入ったところである。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

(質問なし)

ほかに質問等なければ、以上で安塚区安塚地区農業集落排水処理施設の廃止等についての報告は終了する。ここで、生活排水対策課の職員は退席となる。

(生活排水対策課職員退席)

次に(2)諮問第112号(安塚雪だるま高原の一部施設の廃止について)の答申に対する回答についての報告に移る。事務局に説明を求める。

【萬羽主任】

資料No. 2及び3に基づき、諮問第112号(安塚雪だるま高原の一部施設の廃止

について)に関する地域協議会からの答申を受けての市の対応方針を説明。

【松苗正二会長】

事務局から説明があったが、何か質問等あるか。

(質問なし)

質問等なければ、以上で諮問第112号(安塚雪だるま高原の一部施設の廃止について)の答申に対する回答についての報告は終了する。

次に(3)地域協議会会長会議についての報告に移る。

資料No. 4及び5に基づき、1月6日(木)に開催された地域協議会会長会議の概要等を説明。

資料記載の内容について、意見等のある方はお願いしたい。

【中村真二委員】

会長会議の場の空気感とは違うかもしれないが、資料を読んで感じたことを述べたい。資料を読む限りでは、今までの地域活動支援事業は区ごとに配分額が決まっていて、その中で地域協議会が審査をして補助金を出すような仕組みであったものが、今度は地域自治区単位でやりたいことを取りまとめて、それを市にあげて通るかどうかという話になるように見える。そうすると、地域自治区への予算配分というよりも地域自治区同士が競争させられる印象を受ける。それでは、地域分権という名のもとに競争させて、努力しなかったところは滅びると言われているようにも感じる。会長会議の際、その辺りの雰囲気はどうだったか。

【松苗正二会長】

会長会議の中で中川市長には各会長から色々な意見が寄せられていた。

予算的なものはどうするのかという質問もあったが、それについては明確な回答はなかったと思う。良いものであれば予算を積極的につけるが、一方で備品を購入するといったものについては、なかなか予算をつけることは難しいという話はあった。例えば資料No. 5の会議録の中にも載っているとおり、建物とか道路を作るというものに対して予算をつけることは難しいが、地域を活性化させるためのソフト面のものについては、積極的に予算をつけるというお考えのようである。

ただ、地域協議会が予算を組んで提出したとしても、議決をするのは市議会という想定であり、地域協議会の提出したものがそのまま予算化されるかは分からない。詳細についてはまだ分かっていないというのが現状である。

【中村真二委員】

そうすると、皆で練ったアイデアをよいかどうか判断するのは地域協議会ではなく、市議会ということになり、それでは期待外れであるし、おかしいのではないかという印象を受ける。

【松苗正二会長】

全くそのとおりであると感じている。せつかく地域協議会が各団体等から意見を聞き、地域を活性化させるための案を作っていたとしても、それに予算がつくかどうか分からないということになる。

会議録の中にも載っているかもしれないが、中川市長は「もし説明が必要だということであれば、私も直接伺って、ご説明させていただいても結構である」というふうに言っていた。委員の皆さんから希望があれば、今後、中川市長との意見交換の場を設けてもらうよう依頼してもいいかもしれない。

ほかに質問等あるか。

【吉野誠一委員】

この流れというのは、市長選の公約の中で中川市長がずっと言い続けてきたことであり、皆さんも承知されているはずである。それにも関わらず、突然言われても困るというような話はないと思う。

また、従来地域協議会は、意思決定機関としてどちらかと言えば地域活動支援事業のように下請け的にもらって、受け身の形で進めていた。中川市長は、地域の課題について、地域協議会が主体になって計画案を作って出してほしいと言っている。中村委員の話ではないが、生き残りをかけた地域自治区間の競争原理の中で捉えていかなければならないと思う。地域協議会から提案された計画案について、市長あるいはどのような機関で判断するかは分からないが、しっかりと我々が自立して、主体的に色々な計画案を作って提案すれば、そこで判断されたものは議題として必ず議会に提案される。議会に提案されれば、恐らくそれを否決する勇気は市議会にないと私は見ている。

【松苗正二会長】

吉野委員の意見は吉野委員自身の意見であるので構わない。ただ、今の地域活動支援事業でいうと1億8千万円ほどであるが、その限られた予算の範囲内で各地域からどのようなものが出てくるか分からない。どれをあげて、どれを落とすかの判断は非常に難しく、出てきたもの全てをあげていたら、現状の予算ではとても収まらない。

いずれにしても、詳細については、ほぼ何も決まってない状態であると思う。ただ、中

川市長のお考えとしては、令和4年度の地域活動支援事業について、地域協議会で審査を行わず、その代わりに令和5年度予算案への反映を視野に入れながら、積極的に各団体や地域の方との意見交換を通じて地域の課題等を見つけてほしいということである。予算要求をしても、限られた予算の範囲内で判断がなされるので、全てが認められるとは限らない。

何か質問等あるか。

【池田康雄委員】

限られた予算という話があったが、地域独自の予算の前提としては、市全体で1億8千万円、安塚区で510万円という程度になるということか。例えば1千万円以上の事業を計画しても認められないということか。予算の上限等、何もはっきりと決まっていのように感じるが。

【松苗正二会長】

予算について、私がお応えできることはないが、これまで地域活動支援事業の予算として1億8千万円ほど見ていたことを考えると、それと同程度になるのではないかと。10億円出すというわけにはいかないと思う。先ほど吉野委員が言われたとおり、地域自治区間で予算を取り合うという形になるかもしれないし、あるいは地域活動支援事業と同様に各地域自治区で配分額が定められるのかもしれない。現時点ではまだはっきりしておらず、会長会議の中で中川市長から明確な回答はなかった。

ほかに質問等あるか。

【外立正剛委員】

資料No. 4の中に地域協議会への期待という項目がある。基本的に地域協議会には自主的審議に集中して進めてほしいということであると思う。自主的審議において、一つの問題を出すだけで相当な時間がかかっている。地域との話し合いの中で進めていくというのは、我々が今取組んでいる内容と一致する点もあると思うが、問題点を出すこと自体がなかなか難しい。自主的審議を進めたところから予算をつけていくと簡単に言うが、実際はそう簡単な話ではない。これまでのように地域活動支援事業の審査を行うだけで終わってしまうのではなく、NPO雪のふるさと安塚等と一緒に活動していかないと自主的審議で取組む課題や解決策というのは出てこない。

会議録等を読んでいると、中川市長のお考えが示されているが、13区の中には厳しいところもあるというのが率直な感想である。中川市長が言われる地域の活力向上や地域の活性化とはどのようなことを指すのか、聞いてみたい。

【松苗正二会長】

安塚区地域協議会では、「住みやすい安塚の在り方について」というテーマで自主的審議を本格的に進めていくことになっており、中川市長のお考えに沿っているものと考えているが、地域独自の予算に向けて具体的にどのように進めていくかはまだ分かっていない。今後、市から追って説明があるものと思っている。

地域の活性化の捉え方は様々である。自分たちが楽しければ活性化しているとも言えるし、お金の面から捉える活性化というものもあると思う。一概には言えない。

ほかに質問等あるか。

(質問なし)

令和4年度地域活動支援事業については、この後資料No. 6に沿って協議を行う予定であるので、よろしくお願ひしたい。ほかに質問等なければ、以上で地域協議会会長会議についての報告は終了する。

次に次第4協議事項(1) 令和4年度地域活動支援事業についての協議に移る。事務局に説明を求める。

【萬羽主任】

資料No. 6に基づき、令和4年度地域活動支援事業の取扱いを説明。

【松苗正二会長】

事務局から説明があつたが、何か質問等あるか。

【吉野誠一委員】

地域協議会に審査を任せる場合もあり得るとのことか。

【萬羽主任】

この後皆様から協議いただき、市と地域協議会のどちらが審査を行うのか、審査主体の決定をお願いしたい。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

(質問なし)

質問等なければ、令和4年度地域活動支援事業の審査主体について、市で審査を行うか、従来どおり地域協議会で審査を行うか、協議を行う。ちなみに先ほど事務局に確認したところ、本日時点では、市で審査を行うところが3自治区、地域協議会で審査を行

うところが5自治区ということであった。意見のある方はいるか。

【吉野誠一委員】

私は市で審査を行ってもらった方がよいと思う。地域協議会は自主的審議に集中した方がよい。

【松苗正二会長】

従来どおり地域協議会で審査を行った方がよいという意見の方はいるか。

【松野修委員】

自主的審議の内容をどこに絞って進めていくかという問題もある。地域活動支援事業は地域の皆さんから要望としてあがってきたものに対して予算付けしている。これまでとは違う審査方法の方がよいと思う。

【松苗正二会長】

令和4年度も今年度同様に提案募集を行う。ただ、審査主体について、市と地域協議会のどちらにするかということである。皆さんそれぞれお考えがあると思うので順番に発言をお願いしたい。

【吉野誠一委員】

先ほどから何度も確認しているが、従来どおり地域協議会で審査を行った方がよいという委員は誰もいなかった。

【松苗正二会長】

まだ一度しか確認していない。

【新保良一委員】

私は以前から地域協議会で審査を行うのはいかなものかと思っていた。自分たちでそこに全然参加していないのにも関わらず、各団体が実施しようとしているものをどうやって評価すべきか分からなかった。これまでの審査方法を基本としながら、市で審査してもらえればよい。自主的審議に関係する内容もあるかもしれないが、地域協議会で審査を行わなくても差し支えないと思う。

【中村真二委員】

私も市で審査をしてもらえればよいと考える。審査後、審査結果を地域協議会へ報告するという流れになっているのでそれで構わない。先ほど質問のところで聞けばよかったが、一つ気になった点があるので確認したい。経過措置として、これまでの提案団体に配慮したという文脈のように感じるが、これまで提案していない団体が提案する場合には採択のハードルが高くなってしまうのか。

【松苗正二会長】

そのようなことはない。

【吉野誠一委員】

そのようなことがあれば分断になってしまう。皆平等に扱われるはずである。

【山岸重正委員】

令和4年度で終了ということなので市に任せよう。

【松苗正二会長】

意見がない中で決まるのもよくないと思い、皆さんにお聞きしている次第である。

【池田裕夫委員】

市で審査を行う場合、どういう方々が協議をして、どういうふうになったか、教えてもらいたい。

【山岸重正委員】

私は令和4年度で終了となるので、最後は市で審査をした方がよいと思っている。これに反対の方がいるのかお聞きしたい。

【吉野誠一委員】

私は、ほかの地域自治区における地域活動支援事業の審査方法や採点方法について、色々なところで話を聞いているが、利益相反行為が横行していて問題になっていることは事実である。そのような状況を考えると、馴れ合いになっている面もある気がしている。ここで市へバトンタッチして、地域協議会は自主的審議に集中して頑張りたいと思っている。

【松苗正二会長】

令和4年度の地域活動支援事業の審査主体について、地域協議会で審査を行わず、市で審査を行うことに賛成の方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

それでは、安塚区では市へ審査を依頼することとしたい。

以上で令和4年度地域活動支援事業についての協議は終了する。

次に(2)令和3年度地域活動支援事業成果報告会の協議に移る。事務局に説明を求める。

【萬羽主任】

資料N o. 7に基づき、令和3年度地域活動支援事業成果報告会の開催案を説明。

【松苗正二会長】

事務局から説明があつたが、何か質問等あるか。

(質問なし)

それでは、令和3年度地域活動支援事業成果報告会について、当初の予定どおりに開催するかどうか、から協議を進めていく。意見のある方はいるか。吉野委員から順番に発言をお願いしたい。

【吉野誠一委員】

私は開催しなくてよいと思う。

【松苗正二会長】

理由は何かあるか。

【吉野誠一委員】

理由は特にない。

【山岸重正委員】

私も吉野委員と同様の意見である。

【松野修委員】

今年度新たに提案された団体については、報告会を開催した方がよいのではないか。行野自治会や安塚スキークラブ等については、以前視察を行っている。新しく実施した事業について、各団体から手ごたえ等の話を聞いてみたい。

【秦克博委員】

私は全実施団体から報告してもらった方がよいと思う。

【外立正剛委員】

私も全実施団体から報告してもらった方がよいと思う。

【中村真二委員】

私も秦委員や外立委員と同様に全実施団体から報告してもらった方がよいと思う。市の補助金を活用している事業であるので、それくらいの説明はしてもらった方がよい。

【新保良一委員】

大切な補助金を活用して実施しているので、私も全実施団体から報告してもらった方がよいと思う。

【小松光代委員】

私も例年同様に事業のまとめとして全実施団体から報告してもらった方がよいと思う。

【池田康雄委員】

私も全実施団体から報告してもらいたいと思う。

【池田裕夫委員】

これまでの流れもあるので、ここで急に変わる必要はない。報告会を開催した方がよい。

【松苗正二会長】

皆さんの意見を踏まえ、成果報告会を開催することとしたい。

次に実施方法についてであるが、事務局案のとおりでよろしいか。

（「はい」の声多数）

次に日時についてはいかがか。昨年度は3月の第1金曜日に開催しており、今年度でいうと3月4日（金）となるが、それでよろしいか。

（「はい」の声多数）

時間については、午後6時開始でよろしいか。

（「はい」の声多数）

次に進行を務めていただく委員を決めたいと思う。昨年度は小松委員に務めていただいたが、今回はいかがか。

【池田康雄委員】

また小松委員にやってもらいたい。

【小松光代委員】

順番で担当した方がいいのではないか。

【松苗正二会長】

小松委員にお願いしたいとの意見があったが、小松委員いかがか。

【小松光代委員】

承知した。本当は若い人にやってほしいと思っていたが。

【秦克博委員】

私も一度務めたことがあるので、小松委員にお願いしたい。

【松苗正二会長】

それでは、進行は小松委員に務めていただく。

【松苗正二会長】

先ほど松野委員から新規の提案団体のみ報告してもらってはどうかという意見もあったが、事業を実施した全団体に報告をお願いするというところでよろしいか。

（「はい」の声多数）

それでは、例年どおり全団体に報告をお願いします。

【中村真二委員】

昨年度は説明と質疑を含めて10分ということになっていたが、質疑はそれほどなかった気がしている。説明の時間を長めにして、質疑の時間を短くしてもいいと思う。

【松苗正二会長】

中村委員からの意見について、皆さんのお考えはいかがか。

【小松光代委員】

昨年度進行を務めていて感じたことであるが、質疑があまりないとどんどん進んでいってしまい、後の方の団体の開始時間が予定時間よりもだいぶ早くなってしまっていた。中にはまだ発表者が到着していないのに順番がきてしまうということもあった。説明5分、質疑5分という時間配分はどうなのかなと感じている。

【松苗正二会長】

説明を10分にした方がよいということか。

【小松光代委員】

各団体の持ち時間は昨年度同様に10分としても丁寧な説明をお願いしたい。質疑があまり出ないようであれば、質問なしで終わるのではなく、委員の皆さんから質問してもらいたい。

【松苗正二会長】

目安の時間はある程度決めておいた方がよい。

【新保良一委員】

合計10分のままでよい。

【松野修委員】

これまでどおりの時間配分で構わない。質問をいっぱい出してもらえばよい。それは我々の責任かもしれない。

【外立正剛委員】

今年度の事業の中に山のうえの雪まつり事業というものがあるが、イベントは2月26日（土）に開催される。それで3月4日（金）に成果報告できるものか。お金を使いましたという報告だけではよくない。

【松野修委員】

昨年度も同じようなスケジュールでお願いしているので、問題ないのではないか。

【吉野誠一委員】

まとめが終わっていない中で質問に耐えられるか。

【松苗正二会長】

耐えられると思う。

【松野修委員】

昨年度も雄弁に発表していた。

【外立正剛委員】

2月26日（土）にイベントを実施し、4日くらいでまとめて成果報告というのは酷なように感じた。これが最終的な事業のまとめになる。松苗会長が問題ないということであれば、構わないが。

【吉野誠一委員】

成果報告会の開催日を延ばせばよいのではないか。

【池田康雄委員】

新規の提案団体であれば慌てふためくということもあるかもしれないが、山のうえの雪まつり実行委員会は何度も経験されているので問題ないと思う。まだまとまっていないことは分からないと言ってもらえばいい。昨年度の成果報告会の時に金額をいくらくらい使ったか質問したが、そこまで細かいことは聞かなくてもよい。

【松苗正二会長】

外立委員から、成果報告会の開催日が早すぎて資料のまとめが難しいのではないかと意見があった。先ほど開催日を決めたところであるが、今一度確認させていただく。3月4日（金）または11日（金）のいずれかになるかと思うが、11日（金）に延ばした方がよいという意見の方は挙手をお願いしたい。

【吉野誠一委員】

延ばした方がよい。

【松野修委員】

相手の立場に立てば1週間余裕があった方がよいかもしれない。

【中村真二委員】

申し訳ないが、11日（金）開催とする場合は、仕事の都合により欠席をお願いしたい。

【松苗正二会長】

中村委員は都合がつかないということであるが、1週間延ばした方がよいとの意見が

多いため、3月11日（金）開催ということによろしいか。

（「はい」の声多数）

中村委員は都合がいたら出席をお願いしたい。

それでは日時については、3月11日（金）午後6時開始とする。

【外立正剛委員】

1点、要望事項をお願いしたい。報告いただくにあたり、これだけは言ってほしいという内容がある。どの事業を見ても地域活性化というものが事業の目的に挙げられていた。どのように活性化できたのか、述べてもらえると地域協議会の自主的審議にも活かせるかもしれない。お金をいくら使ったということではなく、どのような成果があったのかが知りたい。

また、参加者については、もっと多くの方から成果報告会に参加してもらいたい。各団体の皆さんが地域で頑張っている姿を多くの方に見てもらい、情報共有してもらいたい。成果報告会の開催を広く周知してほしい。

【松苗正二会長】

活性化というか、どのような成果があったのかについては、これまでも発表してもらっている。それよりもさらに具体的な内容を発表してもらいたいということか。

【外立正剛委員】

ただイベントをやりました、10人集まりましたというだけでは地域活性化につながらないと思っている。厳しいことを言って申し訳ないが、地域活性化することを目的に掲げて事業を実施する以上は、発表でも触れてもらいたい。頑張ったけど成功しなかったというものがあってもよい。成功したからいいという話ではない。それによって聞いている人たちも色々と考えることができる。

【松野修委員】

採択した側の責任もある。

【吉野誠一委員】

活性化と言っても目安がなく、難しいと思う。事業を提案するにあたり、事業の目的を書いてもらっているので、その目的に対してどういう点で上手くいった、どういう点で反省の余地があるというような報告になるのではないか。

【外立正剛委員】

そのような報告であれば問題ない。

【吉野誠一委員】

提案時の事業の目的に対して、結果はどうでしたかというふうに投げかければよいと思う。

【松苗正二会長】

それでは、発表する項目の一つとして、事業提案書に記載した事業の目的に対する成果についても触れてもらった方がよいとお考えの方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

それでは、発表する項目の中にその点も入れていただく。

【萬羽主任】

開催の周知について1点お願いしたい。資料No. 7に記載の参加者には文書で御案内するが、通常地域協議会と同様に防災行政無線で区内の皆様にお知らせするということがよろしいか。

(「はい」の声多数)

そのように対応させていただく。

【松苗正二会長】

参加者として、実施団体、町内会長、自治会長、区内各種団体が挙げられているが、これでよろしいか。

(「はい」の声多数)

ほかにこういう方に来てもらいたいということがあれば別であるが。

【吉野誠一委員】

その周知を防災行政無線ですということではないか。文書で通知するわけではないと思う。

【萬羽主任】

実施団体、町内会長、自治会長の皆様には文書でお知らせする。また、区内各種団体ということで、これまで地域活動支援事業を提案されたことがある団体の皆様に対しても文書でお知らせしている。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

今年度もそのようをお願いしたい。

ほかに質問等あるか。

(質問なし)

質問等なければ、令和3年度地域活動支援事業成果報告会についての協議は終了する。
次に次第5自主的審議事項「住みやすい安塚の在り方について」の協議に移る。

当日配布資料に基づき、1月18日(火)に開催した小委員会における検討結果を説明。

今ほど説明した内容について、何か質問等あるか。

(質問なし)

それでは、資料記載の協議事項について、順番に協議を行う。

(1) 取組内容について、小委員会の作成した案では、意見交換の前にアンケートを実施することとしているがよろしいか。

(「はい」の声多数)

次に(2)スケジュールについてはいかがか。

【山岸重正委員】

4月は町内会長や自治会長が代わる時期である。新しく就任する方もいると思うが、そのような方たちに対してどのように説明するのか。

【松苗正二会長】

2月10日(木)に町内会長、自治会長へアンケート実施の趣旨を説明したうえで用紙の配布・回収について依頼する予定としているが、その中で今後交代される場合は次の方へ申し送りしてもらいたい旨もあわせて依頼したいと思う。

(2) スケジュールについては、資料記載の案のとおりでよろしいか。

(「はい」の声多数)

次に(3)アンケートについてである。先ほどの協議の結果、アンケートを実施することが決定したが、アンケートは区内全世帯を対象に実施することとしてよろしいか。

【中村真二委員】

いつの会議であったか忘れてしまったが、世帯を対象としたアンケートの場合、世帯主の考えしか聞けず、そのほかの家族の考えが聞けないという意見があったと思う。お一人ずつ回答してもらうため、アンケートのあて先は中学生以上の個人全員というふうにはできないか。

【松苗正二会長】

そのような意見はあった。アンケートの中に若い方等を対象にしたものを含めることも検討すべきであると考えている。その辺りはこれから協議、検討していければと思う。

ほかに意見等あるか。

(意見なし)

基本的には区内全世帯を対象にするという考えで進めていくので、よろしくお願ひしたい。

次に対象とする区内活動団体についてである。各団体に対してもアンケートを実施したいと考えているが、どのような形でどのような団体を対象にアンケートを実施したらよいか。資料に記載されている団体のほかにも対象にすべき団体があれば追加したいと思う。

【山岸重正委員】

対象者の中に学校関係が含まれているが、私は保育園の方が今一番切なく感じているように思う。保育園の園長も対象者に入れてもらいたいと考えている。

【松苗正二会長】

それはアンケートの対象者に追加してほしいということか。

【山岸重正委員】

ほかの皆さんと同様でいいと思う。

【松苗正二会長】

学校関係については、児童や生徒を対象にアンケートを実施したいと考えている。保育園の園長については、アンケートではなく、各団体と意見交換する際に入ってもらおうということによろしいか。

【山岸重正委員】

どのような形でもいいので意見を聞きたい。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

【吉野誠一委員】

安塚中学校にはやすづか学園の生徒も含まれるか。

【松苗正二会長】

含めた方がよいと思う。

概ね資料に記載されている団体のとおりによろしいか。

【池田裕夫委員】

市議はどうか。

【松苗正二会長】

別紙1の区分2（企業等）についてであるが、これは各所属の代表者等を対象とするものである。市議会については、全議員ではなく、安塚区出身の本山市議を対象にする方向で考えている。

【吉野誠一委員】

ほかにも地域協議会を傍聴に来られている方もいると思うが。

【松苗正二会長】

それはまた別で考えればよいと思う。

概ね資料に載っているとおりでよろしいか。

【吉野誠一委員】

それは区分3や4も含めてということか。

【松苗正二会長】

全ての区分について検討をお願いしたい。

【外立正剛委員】

農業関係の法人を追加してほしい。

【松苗正二会長】

どのくらいの数の団体があるか分からないが、良い案であると思う。

【外立正剛委員】

私も3、4団体しか分からない。

【吉野誠一委員】

総合事務所が把握していると思う。

【小松光代委員】

坊金や樽田にはあると思う。

【松野修委員】

小黒にもあるのではないか。

【松苗正二会長】

小黒は法人ではない。

【松野修委員】

法人ではないかもしれないが、同じようなことに取り組んでいると思う。

【松苗正二会長】

須川にはあるのではないか。

【新保良一委員】

須川にはない。

【松苗正二会長】

棚田の関係はあるのではないか。

【新保良一委員】

棚田の関係はあるが、法人はない。

【松苗正二会長】

外立委員が言われたものは、棚田の関係で捉えた方がよいと思う。

【外立正剛委員】

農業関係であれば、生産組合でも法人でも構わない。アンケートの出し方が難しい。

【新保良一委員】

生産組合の方には来てもらった方がよいと思う。

【松苗正二会長】

農業については、生産組合の方に意見を聞くということによろしいか。

【外立正剛委員】

それでよい。

【松苗正二会長】

対象団体の追加については、以上でよろしいか。

（「はい」の声多数）

各世帯へのアンケート用紙の配布・回収については、町内会長や自治会長に協力いただき、対応してもらうことが可能であると思うが、各団体へのアンケート用紙の配布・回収についてはどのような方法で実施したらよろしいか。

【外立正剛委員】

予算があるのであれば、郵送でよいと思う。

【松苗正二会長】

事務局としてはどうか。

【萬羽主任】

最終的にどのくらいの数の団体に対して、アンケートを実施するかによる。対象団体の決定後、事務局の方で別途検討させてほしい。

【吉野誠一委員】

この場では希望だけ聞いておいて、あとは小委員会に委ねてはどうか。

【中村真二委員】

各団体に対するアンケートの実施については、数を増やすと大変なことになる気がする。事務局の方である程度を示してもらい、それを基に小委員会で絞った方がよい。アンケートを実施しない団体については、意見交換で考えを聞けばよいと思う。全団体にアンケートを実施して、集計する作業はかなりの作業量になる。詳細については、小委員会で検討してもらえればよいのではないかと。

【松苗正二会長】

中村委員や吉野委員から小委員会で検討すべきとの意見があった。それでよろしいか
(「はい」の声多数)

次に意見交換の実施方法については、いかがか。

【新保良一委員】

何回かに分けなければいけない。

【松野修委員】

予算の関係を考えると、アンケートの集計後、6月の早いうちから実施した方がよい。

【松苗正二会長】

今のところ、6月から7月にかけて意見交換を行うことになっている。一度に実施できるわけではないので、どのように分けて実施したらよいか。小委員会では、区分ごとに実施する形を検討している。

【外立正剛委員】

区分ごとに実施すればよい。アンケートの内容も世帯用と企業用で異なると思う。

【松苗正二会長】

学校関係については、児童や生徒と意見交換を実施したいと考えているが、学校行事等も考慮しなければならない。

外立委員から世帯と企業等でアンケートの内容を変えるべきとの意見があった。アンケートの設問を検討する時間も必要である。日数も限られている中、小委員会だけで検討できるのか、相当な回数集まらなければいけないと思う。現状、地域協議会を月1回開催し、小委員会をその前に1回開催している。それでは時間が足りないと思うが、意見のある方はいるか。

【中村真二委員】

アンケートの設問の検討については、一から作っていると大変な作業になるので、以前資料で配布された名立まちづくり協議会のアンケートを参考にしながら、たたき台を

作ってはどうか。そのたたき台を基にこれを入れた方が良く、これは入れなくてよいというふうに意見を皆で出し合ってみて、その後小委員会でまとめるという形で進めればなんとか完成するのではないかと思う。

【松苗正二会長】

中村委員から名立まちづくり協議会が実施したアンケートを参考にして、検討してはどうかという意見があったが、それも一つの方法であると思う。そのような進め方でよろしいか。

(意見なし)

そうだとすると、今1月末であり、2月と3月でアンケートの設問を決定するという厳しいスケジュールであるため、近々に小委員会なり集まる機会を設ける必要があると思う。吉野委員、いかがか。

【吉野誠一委員】

まずは小委員会の日程を決めてほしい。

【松苗正二会長】

それでよろしいか。

(「はい」の声多数)

今回は小委員会の方がよいか。

【松野修委員】

そこで皆さんの意見を聞くのであれば、全体会議でもよいと思う。

【松苗正二会長】

私も全体会議の方がよい気がする。

【吉野誠一委員】

そこで何を検討するのか。

【松苗正二会長】

アンケートの設問や対象とする団体等についてである。

今回は全員参加にした方がよいと思うが、皆さんのご都合を確認したい。

【吉野誠一委員】

小委員会でたたき台をつくって、全体会議に諮るという手続きをとった方がよいと思う。

【松苗正二会長】

吉野委員から小委員会の方がよいとの意見があったが、それに賛同される方は挙手を

お願いしたい。

【松野修委員】

名立まちづくり協議会のものを参考にして、小委員会でたたき台を作れるのか。

【吉野誠一委員】

むしろ参加者が多くなれば作りやすくなる。

【松野修委員】

それは分かる。皆さんの意見として、小委員会で作れるということであればそれで構わない。しかし、広く意見を聞きたいとなれば別である。

【松苗正二会長】

小委員会の方がよいと思われる方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

それでは、小委員会で検討したいと思うが、開催日はいつにしたらよいか。

【池田裕夫委員】

2週間後でどうか。

【松苗正二会長】

中村委員、いかがか。

【中村真二委員】

私は小委員会のメンバーに入っているのか。

【吉野誠一委員】

小委員会のメンバーは固定した方がよい。

【松苗正二会長】

前回か前々回の地域協議会で話し合った際、持ち回りで皆さんから参加してもらった方がよいとのことであった。

【吉野誠一委員】

小委員会で検討後、たたき台として全体会議に諮るわけであるから、小委員会のメンバーは固定した方がよい。

【松苗正二会長】

そのような意見もあるかもしれないが、全体の意見としては皆さんに参加してもらった方がよいということであった。

中村委員、いかがか。

【中村真二委員】

私の心情としては、メンバーを固定して毎回参加となると、負担が大きい。私事で恐縮であるが、コロナ禍で仕事も相当影響を受けているため、メンバーを固定するのであれば、参加は遠慮したい。持ち回りで2回か3回に1回参加ということであれば参加できる。

【松苗正二会長】

開催日はいつにしたらよいか。

【吉野誠一委員】

私が言っているのは、アンケートの設問を検討する小委員会と集計する小委員会というふうに委員が半分ずつに分かれて、作業を分担して進めた方がよいということである。それぞれ小委員会で検討したものは全体会議に諮られる。

【松苗正二会長】

アンケートの設問を検討する小委員会をつくるということか。

【吉野誠一委員】

アンケートの設問を検討する小委員会のメンバーを固定し、残ったメンバーは集計する小委員会のメンバーとして固定するということである。前半はアンケートの設問を検討するメンバーが忙しく、後半は集計するメンバーが忙しいと思うが、作業を分担した方がよいと思う。ダメならダメで構わない。

【松苗正二会長】

吉野委員からアンケートの設問を検討する小委員会のメンバーを固定した方がよいとの意見があったが、いかがか。

【池田裕夫委員】

完全に分かれてしまうのは難しいと思う。固定で入るメンバーとローテーションで入るメンバーがそれぞれいる形が望ましい。

【小松光代委員】

はっきりと固定してしまうのはちょっと違う気がする。今日はアンケートの設問を考える方に参加したいとか、次は集計の様子も見てみたいといったことがあってもよい。極端に分けるのではなく、参加したい人は自由に参加できるというような余裕があってもよいと思う。

【松苗正二会長】

地域協議会委員として皆さん一緒に活動しているメンバーであるので、小委員会のメ

ンバー以外であっても、参加したい人は参加してもらった方がよい。強制で参加するのではなく、自由に参加して皆さんで協議する方が良い意見が出てくると思うが、いかがか。

【吉野誠一委員】

決を採ってもらえればよい。

【松苗正二会長】

小委員会については、以前決めたとおり、メンバーを固定せず、皆さん持ち回りで参加してもらい、そのほかに参加したい人はその都度自由に参加してもらおうということでよろしいか。

(「はい」の声多数)

それでは開催日を決めたい。2月の第1週または第2週のどちらかにしたいと思うが第2週でよろしいか。

【池田裕夫委員】

第2週で間に合うか。そうすると隔週で進めていく感じか。

【松苗正二会長】

そうなると思う。

【池田裕夫委員】

隔週で間に合うのであればよいが。

【松苗正二会長】

2月8日(火)でいかがか。

【吉野誠一委員】

火曜日にこだわる理由は何か。

【松苗正二会長】

皆さんが集まりやすいと考えてのことである。以前確認した際、中村委員が火曜日は参加しやすいということであったと思う。

【吉野誠一委員】

承知した。

【池田裕夫委員】

中村委員、最近はどうか。

【中村真二委員】

火曜日の夜であれば参加しやすい。

【松苗正二会長】

それでは2月8日（火）開催にしたいと思うが、何時開始にしたらよいか。

【吉野誠一委員】

午後6時開始でいいと思う。

【松苗正二会長】

それでは2月8日（火）午後6時から小委員会を開催したいと思う。会場については、事務局の方で手配をお願いしたい。

【吉野誠一委員】

会長は毎回小委員会に参加するのか。

【松苗正二会長】

吉野委員と一緒に毎回参加したいと思う。

【中村真二委員】

これは自主的に参加する感じか。

【松苗正二会長】

これからメンバーを決める。今まで参加していないのは、池田康雄委員、松野委員、山岸委員であったと思う。

【山岸重正委員】

自由参加でもよいと思う。

【松苗正二会長】

参加したいという方はいるか。

【松野修委員】

まだ1回も出ていないので出たいと思う。

【山岸重正委員】

私は皆さんの希望を聞いてからでよい。

【池田裕夫委員】

私は参加したいが仕事の都合がまだ分からない。

【松苗正二会長】

池田裕夫委員、池田康雄委員は参加でお願いしたい。それから私と吉野委員、松野委員、山岸委員で6人となるが、中村委員はいかがか。

【中村真二委員】

6人でいいと思う。

【松野修委員】

重要な回であるので、中村委員からも来てもらった方がよい。

【松苗正二会長】

それでは、一応その7名の参加ということでお願いしたいと思うが、そのほかの方も参加いただける方は参加してほしい。

【新保良一委員】

一つお願いしたい。話を戻すようで申し訳ないが、企業等に対するアンケートの実施は必要か。意見交換は必要であるが、アンケートの実施は不要であると思う。

【松苗正二会長】

アンケートの内容はまだ決まっていないが、企業等に所属する方が安塚に対してどのような思いをもっているか、どのような点に魅力を感じるか、意見交換の前にアンケートをとおしてお考えを把握しておいた方がスムーズに進むというふうに考えている。膨大な量のアンケートをとるつもりはない。アンケートの設問については、なるべく少ない量で検討していきたい。

【吉野誠一委員】

企業等に所属している方は、安塚区外から来ている方もいるので、外部の目で客観的に安塚区をどのように見ているか、把握したいということである。

【松苗正二会長】

新保委員としては、意見交換の中で確認すれば十分であるということかもしれないが、すぐに意見交換をしてもなかなか意見が出ない可能性もある。事前にある程度お考えを把握したうえで意見交換に臨んでいきたい。これから皆さんで検討していく中でアンケートは不要であるということになれば、それで構わない。

自主的審議事項については、以上でよろしいか。

【外立正剛委員】

アンケートについて、名立まちづくり協議会のものを参考にするということであるが、ほかにも参考にできるものがあれば、あわせて小委員会の検討に盛り込んだ方がよい。

【松苗正二会長】

その辺りはまた事務局と相談していきたいと思う。

【吉野誠一委員】

本来、安塚区地域協議会として、30年後に住みやすい安塚をつくるための基本的な構想をまとめてからでないとアンケートに入れない。それをなしでやろうというのであ

るから、大変な作業である。

【外立正剛委員】

ほかのところのものを参考にしないとなかなか進められないと思う。

【松苗正二会長】

まずは2月8日（火）に開催する小委員会で検討することとしたい。

それでは、以上で自主的審議事項についての協議は終了とする。

安塚区地域協議会としての審議内容について、確認を行う。事前に事務局へ審議依頼書の提出はあったか。

【大島次長】

事前の提出はない。

【松苗正二会長】

今回審議依頼書の提出はなしということで、審議依頼事項がある場合は、また次回協議会開催日の1週間前までに事務局へ提出をお願いしたい。

次に次第6その他（1）次回協議会の開催日について確認する。通常であれば、次回地域協議会は2月22日（火）開催となるが、都合の悪い方はいるか。

（意見なし）

それでは、2月22日（火）午後6時から開催とする。

その他連絡事項等あるか。

【萬羽主任】

地域協議会だより編集委員会の開催について連絡。

【松苗正二会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。